越谷町広報

発行所
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場企画室
電話越谷42,517,519,522番

本年も赤い羽根募金運動が五月一日から始まります当町に卅二万余円の目標割当がありましたので皆さんのご協力をおねがいします（厚生課）

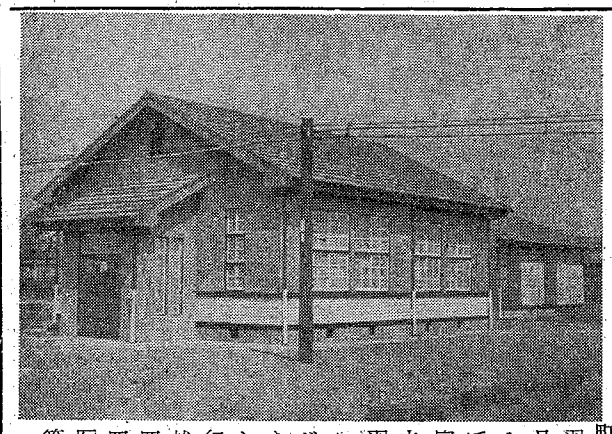
待望の武蔵野線着工決る

當町通過は確實視

久しく待望しておりました武蔵野線は、去る三日の鉄道建設審議会においていよいよ本年から着工することに本決りとなりました、それによりますと「武蔵野線は我孫子（あびこ）附近より、浦和附近をへて所沢附近及び中央線に連絡する幹線として、我孫子附近より浦和附近に至る区間は直に着工するものとする、浦和附近より所沢附近及び中央線に連絡する区間については、すみやかに検討して着工の時期を決定するを適当と認める」とあり、延長八十粁を十ヵ年計画で予算二百四十九億円をもつて本事業を行うことに決定しました

本決定は、鉄道建設審議会（運輸省に設置）が鉄道敷設法にもとずいて鉄道新線の建設に関し内閣総理大臣及び関係大臣に建議したものであります、これによつて一都四県（東京、神奈川千葉、埼玉）の懸案となつていた首都外廓環状鉄道建設が、武蔵野線となつて着工されることになつたところからして越谷町を通ることは確実視されるにいたりました

ご承知のごとくこの武蔵野線は最初玉葉線と名づけ、後に首都外廓環状鉄道と名づけて一都四県の総合開発事業として取りあげられたもので、地方産業の振興及び地方都市の育成整備、鉄道輸送の円滑等にはどうしても常磐、東北、中央、東海道の各線を結ぶ首都外廓環状線、すなわち「我孫子―流山―吉川―越谷―浦和―足立―所沢―立川」の路線建設が必要であると、昭和廿七年以来、六年にわたつて国会方面への運動を展開してきたのであります、それが卅一年入り、その調査費を計上して一二月の鉄道建設審議会に武蔵野線として、新線建設予定路線に設価値十分であるとして今回の着工決定となつたものであります



町立第一診療所完成

町立第一診療所（田羽診療所）は昨年十月廿七日起工以事五ヵ月有余の日子を経て、ここにめでたく完成、その竣工式を去る五日午後二時出羽小学校において行い、県知事代理をはじめ多数の来賓を迎え、町関係者も列席してげんしゅくに挙行されました

竣工した診療所は百四十万円の工費で、四十坪の診療室と、医師住宅十三坪を建築したものです

新農村建設計畫進む

すでに三種の事業完成

当町第一地域（荻島・大袋）が新農村建設の特別助成地域に、昨年六月指定され、八種の農村振興事業を計画したことは本紙上にお知らせした通りであります、その後この計画された事業はどのように進められているか、次に概要をお知らせいたします

この新農村建設事業は卅人の委員で構成されている新農村振興協議会が推進力となつて、農家の総意にもとづく八種の事業が計画されたのであります、このうち卅一年度計画した事業は、大竹農家組合の水田裏作モデル施設、恩間農家組合の耕土培養奨励施設、大袋、荻島両地区農協の農事放送施設等で、いずれも完了をみました、卅二年度事業として残された、大林農家組合の果樹園経営モデル施設、野川農家組合の普通畑経営モデル施設等は、県の認可をまつて実施されます、以下卅一年度完了した事業について申し上げます

その2　秋落水田の改良

耕土培養奨励施設

反当一割五分の増收

これは大袋地区恩間農家組合が、新農村建設事業として、五町歩にわたり受益者共同で耕土培養（ポーキサイト（含鉄分）施用）を昨年十一月一日から本年二月廿八日にかけて施行されたものです、この事業は新農村建設事業として、いち早く取りあげた大袋、荻島両地区の農事放送施設は、いよいよ四月一日から両地区民の大きな関心のうちに開始されました、この施設は荻島、大袋両農協が事業主体となり、両地区別個に計画され、両地区一円にわたつて施行されたもので、加入申込は荻島において三八七戸、大袋地区で四二六戸を得て、両地区共補助があり、後は自己負担となつており、大袋地区の方は、総工費三百六十万二千四百二十円で、そのうち国から百十六万六千円の補助があり、後は加入者負担ということになつております、このようにして開始された農事放送施設は両地区農協内に放送室が設備され、これの運営委員まで選ばれて朝の五時三十分早起鳥から夜の九時まで、放送に、通話にかいがいしく交換嬢や農協職員が働いています

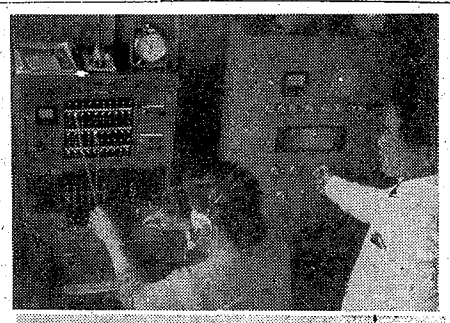
番組編成も地方色を生かしたものが取り上げられ、実生活に役立つものとして、且又電話の役目もするこの施設は、両地区加入者に喜ばれております

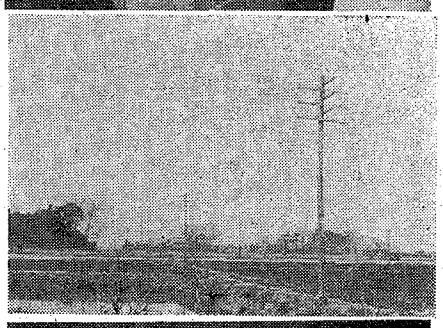
有益便利な農事放送

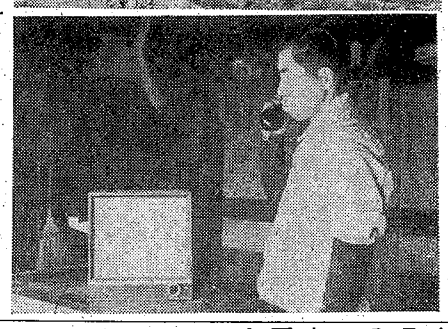
四月一日から開始

その1

ボーキサイド（含鉄分）を反当百二十貫から百五十貫さんぷして秋落水田を改良するもので、ボーキサイト五五二袋（一袋八貫入）を要し総事業費六二、九二八円かかりその内一万八千円国から補助がありました、今後本事業を行つたことが五町歩の生産を高め、反当り一割五分増収が期待できると関係者ははりきつております







（寫真上は放送室兼電話交換室寫真中は各地区への配線電柱、下は受話器を手に受信しているところ）

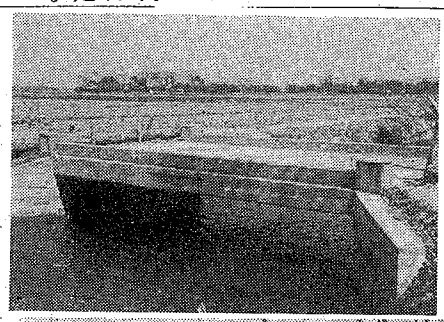
その3　灌排水の便をよくし

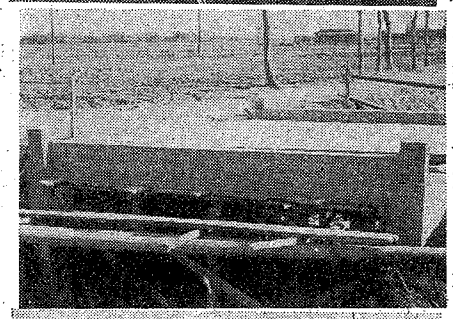
水田裏作を推進

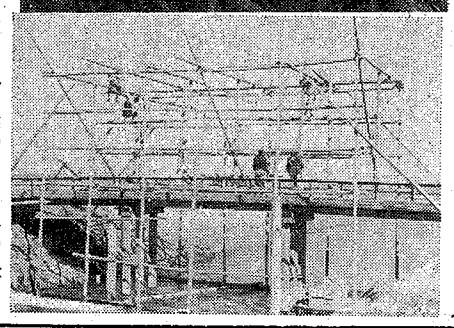
水田裏作推進モデル施設

大袋地区大竹農家組合は水田裏作推進のため、宮田地区二町歩の灌排水改良を行い、新農村建設事業としてそのモデル施設を講じました、この地区は灌排水の便が悪く、毎年裏作時期には温田で困つていたもので、今回用排水路の一ヵ所に、用水を自由に揚排水出来る施設を作り、更に動力耕転機、揚水機、麦土入機、発動機等を各一台購入して、水田裏作推進にそなえました、この事業は受益者共同して昨年十月十五日から本年三月十五日まで裏作の増反意欲は高まり、裏作面積の八〇％作付実施が出来ると期待されています

（内国庫補助十六万七千円）をもつて完成しました、これによつて多年のなやみであつた水田







橋梁工事進む

三月完成したものです、（中）……長さ四・五〇メートルの橋梁工事で、工費一二万七千円を要して内千間堀にかかわる念仏橋の拡張工事で、現在巾二・三〇メートル、長さ二・八〇メートルの橋梁工事で工費四万七千円をもつて完成したもの、（下）……桜井地区で四・〇〇メートルにするもの、工費は五三万円、今月末日竣工する予定です

（寫真上）……これは三ノ宮地内巾二・七〇メートル、長さ四・五〇メートルの橋梁工事で、工費一二万七千円を要して内千間堀にかかわる巾三・三〇メートル、長さ二・八〇メートルの橋梁工事で工費四万七千円をもつて完成したもの、（下）……桜井地区で四・〇〇メートルにするもの、工費は五三万円、今月末日竣工する予定です

役場人事異動

▽新方支所使丁（三月十五日付）森富たつ（越谷病院使丁）▽厚生課長補佐（四月十日付以下同じ）高橋仁之助▽企画室勤務野沢豊彦（建築課土木係）▽出羽支所長名倉六七（厚生課長補佐）▽新方支所勤務神田幸助（厚生課厚生係長）▽増林支所勤務中村三郎（厚生課国保係長）▽税務課徴収係杉山栄八（厚生課厚生係）▽総務課庶務係染谷節子（新方支所）▽厚生課厚生係長会田佐衛門（出羽支所長）▽厚生課国保係長中村孝作（川柳出張所長）▽厚生課厚生係富沢源七（増林支所）▽嘱託を解く（三月三十一日付）荒井市右衛門（公益質屋）▽桜井支所長に補す（四月十日付以下同じ）須中平次（支所長心得）▽川柳出張所長に補す飯高豊作（川柳出張所）▽傭員に任命する（四月一日付）金子治右衛門（臨時傭員）▽新採用四月十日付瀬尾くら（新方支所使丁）四月十一日付吉田顕弘（川柳出張所勤務）▽退職（三月三十一日付以下同じ）森富たつ（新方支所使丁）久保田百合子（厚生課保健婦）浅子良夫（総務課）江田はま（新方使丁）

教育委員会人事異動

▽新採用四月一日付高橋公（東中学校使丁）同加藤恵子（出羽中学校給仕）▽退職三月三十一日付山本孝子（大相模中学校給仕）同瀬尾織恵（出羽学校給仕）

公売公告

国税徴放法施行規則第十九条及び第二三条の規定により差押財産を公売することを公告する

昭和卅二年四月九日

越谷町長　大塚伴鹿

一、公売財産第二号＝越谷町大字大竹字仲久保七七三△田　一反歩

一、同第三号＝同字仲田九七三△田　一反歩

一、同第四号＝同大字大竹字仲田一、〇三一△田　一反歩

一、同第五号＝同字仲田一、〇三四△田　一反歩

▽以上いずれも最低公売価額は三万百五十円です

一、同第六号＝越谷町大字千足字堤外上出州一、二〇一△畑三畝十九歩（最低公売価額六千九百二十五円）

一、同第七号＝同大字西方字上手二、八〇一△田　一反二歩（最低公売価額三万三千五十四円）

一、同第八号＝同大字西方字上手二、八〇三△田一反六歩（最低公売価額三万二千八百三十一円）

一、同第九号＝同大字西方字上手二、八七一△田　八畝十八歩（最低公売価額二万六千八百五円）

前記差押財産は五月七日午前九時より正午まで越谷町役場において入札により公売に付し即日（午後一時）越谷町役場において開札します、希望者は公売財産をよくごらんの上次のことをご承知下さつて入札ねがいます

記

一、入札人は買受見込価格の百分の五以上の加入保証金を納付ねがいます

一、落札代金は五月八日正午までに納付ねがいます

一、物件引渡しは代金納付の後にします

町有不用建物公売

▽建物の表示

旧越谷町国民健康保険直営第一診療所建物

越谷町大字四丁野四五番地

木造瓦葺平家一棟六六坪九八

右公売いたしますから、ご希望の方は四月三十日までに越谷町役場総務課にお申し出下さい、公売の日取等については希望申込者にご通知します

綴じて御保存下さい

当町各小、中學校
教員の定期異動
＝越小校長勇退＝

学校教員の定期異動は、新教育委員会法施行後最初のことだけに大巾な異動発表が四月一日付（退職は三月卅一日付）行われました。当町各小、中学校教員の異動は次に示すように小学校において四十七名、中学校で三十八名となつており、新採用は小、中両校あわせて四名、退職者が九名となつております

越谷管内各小、中学校教員異動（敬称略、カツコ内は前任校）

中学校の部

一、退職

▽越谷中教員浜野志ん▽大相模中教員植竹清▽蒲生中中村ユキ子

二、町内異動及び管外からの転任

▽桜井中長（荻中長）吉田敏保▽出羽中長（増林中長）斎藤忠二▽越谷中長（草）高砂小長）上山良一▽東中長（出羽中）菊地正▽荻島中長（大袋中）田中保▽大袋中長（県教育局）小林得治▽越谷中（百間中）鈴木知久▽同（大沢小）堀切祥民▽同（蒲生中）斎藤宥雄▽同（大相模中）岩間幸吉▽同（増林中）木村芳枝▽同（吉川小）鈴木達已▽蒲生中（越谷中）川田常太郎▽東中（同）岡村照子▽同（豊野中）山崎豊一▽同（杉戸中）田口美枝子▽大沢中（越谷中）朝家陽太郎▽同（桜井小）乳井和子▽桜井中（川柳小）吉田善隆▽同（武里中）竹内歌子▽出羽中（大沢小）田沼明▽新方中（桜井中）高沢光雄▽同（吉川中）栗原勇喜▽大袋中（越谷中）松沢清子▽荻島中（桜井中）石渡ちい▽蒲生中（新方中）鈴木孝雄▽同（谷塚中）穂村久吉

三、新採用

▽越谷中下平裕一

四、管外転任▽吉川中（増林中）赤出川淳之助▽郷方四小（桜井中）島村福太郎▽大越中（出羽中）斎藤昭▽谷塚中（越谷中）谷口多喜雄▽杉戸南小（荻島中）廿楽徳子▽豊野中（大沢中）小林淳夫▽静小（越中校長）小山登

◇**小学校の部**

一、退職

▽越谷小校長長野重蔵▽同教員内田阿津子▽荻島小松沢光子▽同山崎満洲男▽桜井小教員高橋千代▽大袋小教員中台弘

二、町内異動及管外からの転任

▽蒲生小長（桜井小長）大徳重雄▽桜井小長（蒲生小長）小島誠▽越谷小長（大相模中長）山田晴重▽越谷小（蒲生小）石川公子▽同（桜井小）川上四郎▽同（桜井小）川上四郎▽同（草加小）虎溪酉子▽大沢小（越谷中）原田熊蔵▽同（羽生小）細村智夫▽同（草加小）滑尾延之助▽桜井小（増林小）今城由紀子▽同（大袋中）石井巳乃▽桜井小（大袋小）小田鷹七▽臨時任用（桜井小）高橋千代▽出羽小（新田小）金子栄子▽同（大沢中）会田千代▽新方小（三輪野江小）栗原秀二郎▽増林小（吉川小）名倉幸枝▽大袋小（行幸小）香野幸子▽同（蒲生中）金子勉▽同（草加中）栗田利宇▽荻島小（江間第一小）鈴木虎男▽同（百間小）竹下いね▽同（旭小）永瀬敏雄▽蒲生小（杉戸南小）鈴木よし子▽同（越谷小）荒井米子▽大沢小（南桜井小）吉川直子

三、新採用

▽越谷小加藤晴義▽出羽小中野茂▽大袋小毛塚登夫

四、管外転任

▽粕壁小（大沢小）荒木ミネ▽同（出羽小）関根れい子▽武里小（大袋小）杉崎桂子▽同（桜井小）高橋美代子▽新田小（越谷小）今井雪子▽草加小（大相模）崎三千夫▽草加小（大沢小）島俊二▽江面第一小（荻島小）吉岡村良夫▽岩槻小（大袋小）梁原子春之▽杉戸南小（大袋小）岩

稲のビニール栽培盛ん
播種後の管理は慎重に

最近水稲早期栽培が盛んになり現在約四十町歩の面積が当町において作付される予想です、県においても普及奨励しており、当町でも早期栽培展示圃を各地に設置してこれが普及をはかつておりますが、すでに各地区共保温折衷苗代を作り播種も終つた現在、今後どのように管理していくかそれ相当のご研究をされておることと思います

越谷地区農業改良普及事務所では次のような管理をのぞんでおります

▽油紙を取り除く時期とはずし方

播いてから二週間（十四、五日）経つと苗が一寸五分程度になり油紙をかまぼこ型に押し上げる頃になり、本葉二枚半位になるから天気のよい日に油紙をかけた時とほぼ反対の要領で叮嚀に除紙を行う

▽油紙を除いてからの管理

油紙をとつたら直に床面に水を張る、除紙後十日位は日中床面に五分位、夜間は葉先が僅に出る位迄水を張る、この時水が不足すると立枯病にかかりやすい

▽病害虫防除

保温苗代で注意する点は、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの食害による縞葉枯、萎縮（ツグミ）である

一、除紙後五日目頃パラチオン乳剤二、〇〇〇倍液坪当二合撒布

二、田植前一週間水銀剤加用パラチオン乳剤二、〇〇〇倍坪当二合を必ず撒布すること（鍬なら水一斗に三鍬水銀剤なら反当二・五瓦）

（写真は出羽地区における保温折衷苗代）

みんなで春の大掃除

さあ今年も春の大掃除の季節がまいりました、町でも次の通り各地区別に日割を定め皆さんの協力のもと行うことになりました、わたくしたちの生活環境を快適にするため、どなたも効果的に実施されますようおねがいいたします（厚生課衛生係）

▽四月十八日蒲生、川柳▽同二十日出羽▽同廿二日大相模▽廿四日増林▽同廿六日荻島▽同廿八日大袋▽同三〇日桜井▽五月二日新方▽同四日大沢▽同六日越ケ谷

狂犬病予防注射お知らせ

（上から地区名、第一回、第二回注射日場所）

▽桜井四・一五、四・二三支所▽蒲生同▽大袋四・一六、四・二四、同▽川柳同▽荻島四・一七、四・二五、同▽大沢同、中学校▽出羽四・一八、四・二六支所▽大相模同▽新方四・一九四・二七、同▽増林同、小学校▽越ケ谷四・二二、四・三〇本庁

なお時間は各会場とも午後一時から三時までとなつており、当日登録手数料三百円と、注射料百三十円もいただくことになつておりますから、お忘れなく認印とともに受付へ御持参下さい（厚生課衛生係）

広報板

愛育班の手てユニセフミルクの配給

既報のとおり、町では母子衛生の向上発展をはかろうと母子愛育班を結成しましたが、これと前後してユニセフミルクが大量に入荷しました、このユニセフミルクはご存じの通り国際連合児童救済委員会から無償で配給されるものであり、管内の姙産婦と乳幼児にこれを配給して栄養を補給し、体位の向上を計るのが目的です、厚生課ではこれが運営機関である愛育班の方々と相談して第一回の配給を四月上旬行いました、なお該当者は次のとおりです

一、姙産婦—産前六ヵ月と産後六ヵ月で、三月十五日から一日四〇グラムの計算で毎回一ヵ月分配給する

二、乳幼児—生後一年を過ぎた乳幼児は満二才になるまでの間、三月十五日から一日二〇グラムの計算で毎回一ヵ月分配給する

うれしいな
今日から一年生

（8日一斉に入学式）

可愛いい今年の新入学児童は越谷町に1,202人おります、いつも快活であるように祈ります

縣下赤ちゃんコンクールに
当町の三児入選

第九回県下赤ちゃんコンクールは、三月（三十一年）生れの県下各地区代表五三名の赤ちゃんが参加して、大宮公園県自動車会館で行われましたこの中には町代表であり、春日部保健所代表である写真の四児が参加し、審査の結果、大字蒲生寿町の浜陽和彦ちゃんは男子で八位、大沢一区の岡安満希子ちゃんは女子で二位、さらに三位に越ケ谷袋町の山崎幸江ちゃんがそれぞれ入選しました、おしくも西方藤塚の桜井尚美ちゃんだけ等外となりました（写真はお母さんに抱かれ町代表として県コンクールに入選した赤ちゃん達、前列右山崎幸江、左浜陽和彦、後列右から桜井尚美、岡安満希子、保健婦）

教育委員会だより

町教育委員会で教育功労者十氏を表彰

町教育委員会では、三十一年度教育功労者十氏を表彰し、多年教育に尽された功績をたたえ、その労をねぎらいました、今回表彰されました諸氏は、学校教育社会教育、PTAあるいは教育全般にご尽瘁された方々で、その地区住民の感謝尊敬のまとになつております、表彰式は去る一日午後一時から役場会議室において挙行され、山口教育委員長から次の十氏にそれぞれ栄ある表彰状と記念品が贈られました（上から氏名、住所、表彰理由敬称略）

安江道子（越ケ谷）＝小学校PTA理事として十年学校給食部長なりその推進に尽力、佐藤謙三（東方）＝小、中PTA常任理事として会の発展に貢献、内田長寿（大沢）＝旧大沢町教育委員、大沢公民館運営審議員として活躍、十根川千代世（平方）＝桜井婦人会長、公民館婦人部長として尽瘁、島村すゞ（越巻）＝婦人会長として尽瘁、長野久子（大松）＝婦人会副会長として尽瘁、井上理助（東小林）＝PTA会長として尽瘁、平林健一（大房）＝青年学級創設進展に功績、高橋源四郎（西新井）＝小学校PTAの常任委員として貢献、神谷わか（蒲生）＝永年婦人会長として尽瘁

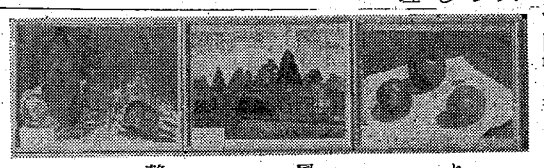
なお、この席上で大相模青年学級の振興につとめられました、谷塚雄一、小沢源右衛門両氏を表彰いたしました、終つて教化の苦心の実情を話し合い、ほんとにほほえましく話題もつきませんでした

母校へ校具寄贈

▽寄贈者＝[redacted]町大字登戸字田昌蔵殿＝[redacted]一個（二尺×三尺）（便所手洗所に取付[redacted]）▽寄贈年月日昭和三十二年四月八日▽趣旨(1)新便所の完成(2)四女節子様の蒲中卒業および就職記念（広田ライター工場）

◇**月例作品**

▽図書の部

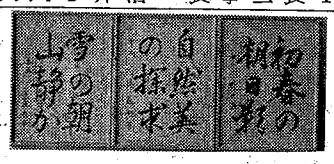


りんごの写生　新小四年　小林卓

風景　袋中一年　瀬尾吉一

静物　荻中一年　田村勢津子

▽習字の部



荻中二年　野口昆子

袋中三年　遠藤好甫

新小五年　遠藤幸子

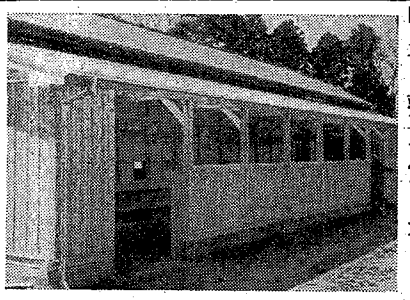
郷土物産を陳列

越谷町商工会では役場玄関入口に陳列棚を作り、郷土の物産を陳列して広く町民に知らせようとするもので、窓口サービスと合せ町民に喜ばれています

陳列品は主に郷土物産として名声をはくしている雛人形、玩具、地下足袋、ズツク、長グツ、ライター等数多く陳列され、役場に来られる人々の目を引いております

大袋小で公民館に改造

いままで大袋小学校の士足室であつたものを、公民館に改造しようと、工費二六万円を投じてごらんのような立派な公民館が四月十日竣工をみました



蒲生奉行地で公民館分館を建つ

蒲生地区奉行地部落三十戸ではかねてから蒲生公民館の分館を建てようと考えておりましたが、漸くその気運が部落全体の気運となつて約十坪を建設、経費も勿論部落全体で出し合つたもので、その努力はついに報いられ去る十日には早くも竣工の運びとなりました、部落全戸がわがことのようによろこび、この日午後一時には全戸参集して祝いあいました（植竹氏より）

＝女工員募集＝

株式会社荒井商店蒲生工場では次により女工員を募集しております

▽職種＝簡単な糸加工

▽条件＝新制中学卒業生から四十才までの通勤可能者

▽申込＝四月廿日までに当町蒲生二五の二（駅から三分）株式会社荒井商店蒲生工場

▽その他＝給与、交通費、就業時間等については面談の上申し上げます

第二十回読書会開く

▽日時四月廿二日（月）午後七時▽場所越谷町立図書館▽題佐多稲子作「キャラメル工場から」▽講師来館の予定、テキスト入用の方は当図書館まで

町営公益質庫・越谷病院・出羽・新方診療所をご利用下さい